



# 三次中央会報

ロータリークラブ

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/ 広島県三次市十日市東 1-16-19  
 TEL (0824) 64-1245  
 FAX (0824) 64-1245  
 E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp  
 http://mrcr.server-shared.com

例会場/ 広島県三次市十日市南1-10-1  
 三次グランドホテル

例会日/ 月曜日 12:30~13:30

会長 / 石田 光雄  
 幹事 / 大井 睦子

■本日のプログラム 米山記念奨学会紹介動画鑑賞

国際奉仕委員会担当

■次回例会日時 2020年10月12日 12:30~13:30

■クラブ協議会 2020年10月12日 13:40~14:00

■次回プログラム プログラム委員会担当

●2020~21年度 国際ロータリーのアーマ



ロータリーは世界の扉を開く

●2020~2021年度 三次中央RCスローガン

出会いの扉を開き、新しい仲間と  
 ロータリーをとことん楽しもう

## ■第1307回例会記録

●日時.....2020年9月28日(月)12:30~

●点鐘.....

●国歌「君が代」斉唱.....

●ソング「我らの生業」.....

会長

全員

全員



■開会挨拶.....

石田会長

## 日本人と英語

皆様 こんにちは!秋風も吹く季節になりました、だいぶ過ごしやすくなりましたが、健康には十分留意してください。

本日は夜間例会です。親睦委員会が三次市の観光DVDを用意しておられるそうです。楽しみにして鑑賞しましょう。

さて秋と言えば行楽の秋・スポーツの秋・芸術の秋とか言われますが、何故、芸術が秋なのか私には解りませんが、厳しい夏の暑さから解放され、稲の収穫も終え、色々と活動しやすい時期になったということだと思います。コロナの話ばかりで暗くなりがちですが、ちょっと微笑むことのできるお話しをしたいと思います。

今年は子ども達の活動も色々と制限されて活躍する場面が非常に少なくなっています。先日社員の一人から、「9/26 保育所の孫の運動会に行つて来ます」と嬉しそうな声で話しかけられました。「エッ今なの?」と思わずにはいられなかったのですが、感染対策を十分されての運営だったと思います。昨日聞いてみると、かけっこ・お遊戯はマスクなしだったそうです。時間は2時間と短めだったそうですが、可愛い孫の演技をみて、会社での憂さ晴らしをしてきたそうです。野球観戦の人数も増え、少しずつですが元の日常に戻りつつあるような気がします。

今月は基本的教育月間です。私は以前からずっと思っていることがあります。日本人は英会話が非常にヘタであると!7年前、家族を連れてハワイに行った時のことです。(私のポケットマネーで。)日頃より世間を



舐めた行動ばかりしていた私ですが、言葉ぐらいつ通じるだろうと、日本語の案内もあろうし、店員もいるはずだ、と。しかし大きなショッピングモールに行った時、服とか買う時は選んでレジに持っていけばいいですが、フードコートで食事を頼む時、はてさて困った。なんて言えばいいのか?親として子どもに見本を示さなくてはかっこつかない、出てくる言葉はI、「私」から始まる英文ばかり、英会話が出てこない、列の後ろに旅慣れた日本人、ちょっと聞いてみたら、なんと「this one this one」でいいよ、と日本語で言うところの「これとこれ」完全に目から鱗状態になりました。

テーブルについてビールを飲んでいると一人の男性が寄ってきて聞くのでした「ビールどこで売ってますか?」この男性も英会話得意じゃないな、しかしビールは飲みたい、周りを見たら外国の

人ばかり、と思いきや呑気そうな日本人がいたということでしょうか。「あそこで売ってますよ」と私は鼻の穴を少しだけ膨らませて言ったのを覚えています。英語は世界共通語であり、世界中どこでも通じます。難しい英文の読解力はいりません 日常会話ができればいいのです。鎖国時代ならいざ知らず今や観光立国となっている日本、お客様として迎える準備としては、もちろんのこと、我々が外国に行く場合、アメリカだろうとフランスだろうとインドネシアだろうと英語が通じます。英語さえ知っていれば世界中の人とコミュニケーションが取れるのです。小さい頃から英会話に慣れ親しむこと、そういう環境の中に身を置くことは大事なことだと思います。我々ロータリーはそういう環境を整えていく奉仕プロジェクトも必要なのではないのでしょうか？

日本人の英語に対する識字率向上、非常に大切なことだと思います。以上で会長挨拶を終わります。

#### ■幹事報告.....大井幹事

- 米山梅吉記念館館報と、寿三郎人形館企画展開催のお知らせを回覧しております。
- カバナー公式訪問の日に行われるクラブフォーラムの流れを確認するため、10月12日例会後にクラブ協議会を開催します。たくさんの方の参加をお願いいたします。
- 新会員の入会が決定しました。10月5日に入会式を行います。
- 10月5日、19時よりグランドホテルにおいて理事役員会を開催します。

#### ■出席報告.....

- 第1305回 8月24日

会員数	38名	Make-up	0名
欠席	5名	出席合計	33名
欠席者のうち欠席免状	2名	出席率	91.67%

- 第1307回 本日の出席は38名中26名です。

#### ■SAA.....中島清祐SAA

- 会員誕生日・・野村会員



- 会員ニコニコBOXご出宝

- 石田君 親睦委員会さん、よろしく。カワイイ妻に花ありがとうございました。伏叩
- 野村君 52回目の誕生日、人生これからです。ガンバります。伏叩
- 大前君 本日は親睦委員会担当例会です。宜しく願いいたします。
- 元廣君 親睦例会、お世話になります。
- 箕田君 毎日元気で農作業ができることに感謝。
- 平田君 良き秋風よ吹いてくれ！
- 沈君 前回休んだだけなのに、休会や休日で、1ヶ月ぶりの出席です。皆さんお久しぶり！
- 宗平君 痛風が少し良くなりました。ありがとうございます。

ニコニコBOX本日出宝額 16,000円

#### 巴橋上流の中洲

投稿：安藤 仁会員

赤い巴橋の上流です。(写真左)左手から西城川が、右手の馬洗川にはほぼ直角に近い角度で合流した所に大きな中洲が出来ています。広々として気持ちが良いですね。毎年大きな重機を投入して土砂のサルベージをしているところです。子どものころにした三角ベース野球ができそうな広さです。

カワウが数十羽 羽を休めていたこともありましたが、9月10日の夕暮れは、鳩(ねぐら)待ちのカラスが百羽ほど集まっていました。

水道橋の方の川の流れには、滝が出来ていました。7月14日の豪雨で、また親水公園が冠水するほど濁流が迫ったためでした。

豪雨災害を減らす取り組みを考えましょう。



## 三次観光案内動画鑑賞

- 運甕居を知っていますか
- 新三次音頭
- わが郷三次



親睦委員長 大前 治夫



皆さん、こんばんは。

本日は親睦委員会担当例会です。

三次市の観光案内にもなる楽しい動画を、会員の皆様に見ていただき、もっと我が町のことを知っていただきたいと思います。

まず始めに、先週ケーブルテレビにて放送されましたが、「運甕居を守る会」による頼杏坪の業績と、三次町に残るかやぶきの役宅「運甕居」を題材にした絵本が作られたことを、守る会の会員でもある当クラブの和田会員が紹介しています。その動画をご覧ください。

二番目に、古本興業のお笑い芸人が全国の盆踊りを紹介し、視聴回数を競う古本興業主催のコンテストで、広島県の住みます芸人の藩飛礼による「新三次音頭」が再生回数 4549 回で1位になりました。この動画もフルでご覧ください。

最後に三次の歌「わが郷、三次」です。作詞藤原亮先生、作曲弦哲也先生、で、カラオケのバック画面ができました。三次の各地域が写っています。こちらも覚えていただき、地元や県外でもカラオケで歌っていただきたいです。



### 運甕居（うんぺききよ）を守る会が絵本作成

運甕居を守る会会員 和田ひとみ

皆さん、運甕居（うんぺききよ）、頼杏坪（らいきょうへい、頼山陽の叔父）これらの名前を目、耳にされた事がありますでしょうか。読めますか。おそらく三次市民の殆どの方がご存じないのではないかと思います。

私が運甕居のことを初めて知ったのは今から60年位前の事です。夏休みの宿題に「三次の歴史」というのに取り組みました。その時父（今治市出身）が連れて行ってくれたのがこの運甕居でした。「昔、偉い人が住んでいた」というのが父の話でした。他市で育った父にとってはこの運甕居というものが珍しかったのかもしれませんが。「偉い人が住んでいた」この記憶はその後ずっと私の心の中にすみつき興味あるものでしたが、その後関わる事無く年月が過ぎました。その後、現在の所有者中村氏の奥さんと友達になり、行く度見る見る彼女の姿は、運甕居の庭の草むしり、剪定、部屋の雑巾がけに汗している姿でした。それらの労の結晶としてこの運甕居が200数十年に亘りきれいな姿のままでこの三次の地にあり続けている事、そしてこの運甕居に住んでおられた、広島浅野藩の代官、奉行であった頼杏坪の民衆に対する篤い心を、多くの皆さんに知っていただきたいと思うようになりました。この三次の宝を皆さんに知っていただき、この絵本の販売を基金としての維持管理へご協力願えたらと思っております。



## 絵本「運篋居」



## 新三次音頭



桜名所の 尾関の山は 春はお花見  
地酒に抱かれ



■点鐘.....石田会長

### 会員ひろい話 vol.8 「秋と言えば…」

鮎はおち 今鮎のぼる 江の川

ビックリしました。箕田会員から見せていただいた写真の魚！大きくて綺麗な色、模様。えっ!? 鮎？  
どこで？ 栗屋の江の川辺り、ということ思い出しました。もう随分随分前になりますが、ゲスト講演で鮎の稚魚の放流という話を伺った事があります。テレビのニュースでも見る事がありますよね。  
でも、実際こんな大きな鮎(体長60cm)が産卵のため遡上し、ふる里のこの江の川に戻ってきていたなんて！

箕田会員の記憶によれば「昔は、鮎がぐらぐらするほど上がって来ていた。おやじは、ノコを垂直に鮎の頭を目掛け、ポコンと打ち気絶させ獲った」。

この大きさになるのに何年かかったかなあ〜？と、元廣会員。



実りの秋

秋と言えば実りですね。竹野会員に思い出の秋の実りの話を聞きました。

うちにはね、大きな柿の木があった。幹の太さは4~5尺はあったかな。今はパイパスが付いて柿の木は無くなってしまったけどね。よく登ったよ。うまいもんよ。円い柿だね。富有柿かな、渋いのもあるよ。渋いのは見れば判るよ。皮に千沙な黒い点々が付いてるのは渋い。上手に剥くよ、リンゴや梨は剥いた長さを妹と競ったね。皮付けたままでは食べんかったよ。ちゃんと剥いだ。栗ねえ、あるよ。大きな木が。でも、今年はダメなんよ。栗の木も年なんかなあ〜。60-70年たったら枯れるというらしいからね。母の炊いてくれる栗ごはん、おいしかったよ。栗は風呂焚きしながら食べたね。三分の一栗皮を剥いて、火に投げ入れるんよ。楽しみだったね。☺